

び CD を SC 1 内に回付中。

11) WG 31 (Mo-吸光光度法) (WD 4941); 報告書を SC 1 内に回付 (04-06)。

12) Ad hoc group (Low C); 予備共同実験結果報告書を WG 内に回付中。

SC 1 内回付中の報告書及び CD は、6 月の第 14 回 ISO/TC 17/SC 1 会議 (London) にて討議。

(5) 関連事項

標準化委員会及び共同研究会の鉄鋼分析部門の組織変更に伴う検討。

4 月 1 日の発足した鉄鋼標準化センターは ISO 及び国内規格の双方を一貫して取り扱う。

従来、鉄鋼分析部門の国内規格は共同研究会で取り扱われているため、標準化委員会への移行手続き及び共同研究会との役割分担等につき下記会議にて検討・決議を行った。

- 1) 会議名: 共同研究会 鉄鋼分析部会臨時部会(4/13)
 共同研究会 機器分析分科会幹事会(4/14)
 共同研究会 化学分析分科会幹事会(4/24)
 共同研究会 鉄鋼分析部会臨時幹事会
 (4/28)

2) 主な決議事項

(a) ISO 及び国内規格審議の中核として標準化委員会鉄鋼分析分科会 (JE 4 分科会) の下に「規格原案審議小委員会」を設置し、規核案文の統一等も含め規格作成の一貫管理を行う。

(b) 規格作成の為の共同実験は上記「規格原案審議小委」が統括するが、その共同実験参加所と共同研究会鉄鋼分析部会の母体は同一とする。

(c) 標準化委員会鉄鋼分析分科会 (JE 4 科会) の主査と

共同研究会鉄鋼分析部会の部会長は同一人とする。会議も同時開催とし、相互の連絡を密にする。

(d) 委員の委嘱など正式活動の開始は、標準化委員会にて鉄鋼分析分科会 (JE 4 分科会) 等の設置が正式承認される本年 7 月以降とする。

4. TC 67/SC 5 (油井管)関係

(1) 第 2 回 TC 67/SC 5 国際会議の Draft agenda Document N 15 として等 2 回会議の draft agenda を作成、中央事務局に公式配布を依頼。

主要議題は次のとおり。

1) TC 67/SC 5/WG 1 作成の規格案 (API 5 CT ベース) の承認、API 5 CT との整合性確保のためシステムの討議

2) TC 67/SC 5 に割合てられた他 API document 5 件の取扱い

(2) 第 2 回 TC 67/SC 5 国際会議-会場の準備

神戸国際交流協会と交渉し、下記会場を予備的に決定した。

神戸国際会議場

会議室 403 号室 10/18 夜~10/23 終日

事務局室 406 号室 10/21 午前~10/23 午後

宿泊については、ポートピアホテルと折衝している。

5. 国内会議

4 月 22 日 TC 67 分科会

TC 67/SC 5 諮問部会

4 月 23 日 TC 17/SC 1 分科会・諮問部会

機械試験方法分科会・TC 164 分科会

6. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

5 月 27 日~28 日 TC 17/SC 9 国際会議 (ロンドン)

6 月 15 日~19 日 TC 17/SC 1 国際会議 (ロンドン)

日本鉄鋼協会・日本金属学会奨学賞 副賞ネクタイピンおよびスカーフピンの図案募集

本会は、日本金属学会と共同で奨学賞を新設、来春第 1 回の贈呈式を行うことになりました。奨学賞は学部学生の卒業時にお贈りするとし、全国大学材料関係教室協議会加盟の国公立および私立大学の金属・材料系学科に候補者の推薦を依頼するとともに、各学科 1 名の割合で贈呈することにしております。

奨学賞は賞状ならびに副賞とし、副賞は「鉄鋼、金属両会の会費を 3 年間無料とする奨学賞会員」として優遇するとともに、さらに男性には記念のネクタイピン、女性にはスカーフピンを添えることにいたしました。

つきましては、この両者の図案を下記要領により広く公募することに致しました。奮ってご応募ください。

記

締切日: 平成 4 年 7 月 31 日(土)

図案の大きさ: B5 判 (縦, 横自由)

応募資格: 会員・非会員を問わない

賞金: 入賞 1 点 100,000 円, 佳作 数点 各 50,000 円

(注) 入賞の作品については、著作権は両会に帰属します。

提出先: 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会総務室

TEL (03)3279-6021 FAX (03)3245-1355